

特記仕様書

町道富野浜厚真線道路舗装工事

- ① 当該工事は町道富野浜厚真線の舗装補修工事であり、主な工事内容は既設舗装の切削、路上路盤再生工、区画線工である。
- ② 本工事においては、通行を確保しながらの施工を予定しているため、工事に際して十分な安全確保を行うとともに、著しい交通の支障を避けること。
- ③ 特記仕様書に記載していない事項については社団法人北海道土木協会発行の北海道建設部土木工事共通仕様書によるものとする。尚、疑義がある場合は双方協議によって決定する。
- ④ 請負者は着手後速やかに施工計画書を提出し、工事箇所地区住民への挨拶を行うこと。また、厚和地区および浜厚真地区自治会長へも挨拶へ行くこと。直接本人と会えない場合には印刷物をもって挨拶と代えること。
- ⑤ 工事の進捗にそって監督員が段階確認を行うのでその直前に連絡確認すること。また、10日ごとに工事旬報を提出し、作業の進捗状況を報告すること。
- ⑥ 作業に際して現況地物及び公共施設を破損、汚損した場合には早急に修復するものとし、二次災害が発生しないよう措置をとること。なお、それらに伴う費用については請負者が負担するものとする。
- ⑦ 工事に際しての出来形規格は共通仕様書を原則とするが、請負会社としても共通仕様書と同等か更に厳しい規格値を設けること。また、社内規格値は施工計画書に明記すること。
- ⑧ 工事に対して発生するアスファルトコンクリート殻は RTR エンタープライズへ搬出する様予定している。
産業廃棄物は全量上記等の廃棄物処理場へ搬出するものとし、不法投棄は絶対に行わないこと。
- ⑨ 路上路盤再生工事を行うに際して路盤改良の試験施工を行い、使用するセメント量を決定すること。
また、施工に際しては1区画範囲に上記により算出した改良セメント量が確実に添加されていることが分かるよう写真や資料を作成すること。